

## 基準価額が5%以上下落したファンドとその背景について（7月9日）

### ◆7月9日の基準価額下落について

別表に記載の公募ファンド4本の基準価額は、8日に中国本土および香港株式市場が大きく下落したことを受け、前営業日比5%以上の値下がりとなりました。

基準価額下落の背景となりました市況動向等、および今後の見通しと運用方針につきご報告いたします。

### ◆基準価額下落の背景となった市況動向等

中国本土市場では、信用取引を利用する個人投資家が多く、6月上旬までの株価上昇過程では資金を借り入れて株式投資を行う信用取引が増加しました。しかしながら、6月中旬以降株価が反落したこと、さらに7月8日には株式売買停止の申請企業が急増したことから、多くの個人投資家が株式を売却し信用取引の解消を行ったことが大幅下落へと繋がったとみられます。結果的に不動産株を含む香港株式市場も中国本土株式市場の動きに追随し株価の下落幅が大きくなりました。

### ◆今後の見通しおよび運用方針

中国政府は、株式市場の下落を受けて諸規制の緩和や新規株式公開を絞り込む方針などを表明してきましたが、今般の株式市場の下落は信用取引の解消を強いられた個人投資家の株式売却が主因とみられます。そのため、諸政策が直ちに個人投資家の買い意欲を高めることに繋がるかは不透明感が残りますが、昨秋からの金融緩和策などを受けて大都市の住宅価格が一部上昇に転じるなど、減速が続いてきた中国の景気も安定化の兆しが見られることはプラス材料です。ただし、市場には引き続き更なる信用取引解消に伴う下落や株式市場の調整が中国経済に与える影響への警戒感が残っていることから、今後も中国本土および香港株式市場の変動幅が大きくなる展開が予想されます。

ファンドの基本的な運用方針に変更はありません。市況動向等に十分注意を払い、引き続きコンセプトに沿った運用を継続していく方針です。

■コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。

■また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

## ＜別表＞

## 【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

ファンド名	基準価額	前営業日比	騰落率
中国株オープン	15,191	-1,356	-8.19%
三菱UFJ チャイナオープン	13,521	-955	-6.60%
アジア不動産関連株オープン	12,941	-800	-5.82%
三菱UFJ アジア好配当株式ファンド(毎月分配型)	12,406	-685	-5.23%

※小数点第3位四捨五入

## (ご参考)

## 【株式相場】

	7月8日	7月7日	前営業日比	
			騰落幅	騰落率
中国上海総合指数	3,507.19	3,727.13	-219.94	-5.90%
香港ハンセン指数	23,516.56	24,975.31	-1,458.75	-5.84%
S&P パン アジア不動産関連株指数 除く日本、ANZ (米ドル建て、税引後配当込み)	350.66	367.05	-16.39	-4.47%

※小数点第3位四捨五入

## 【為替相場】

	7月9日	7月8日	前営業日比	
			騰落幅	騰落率
円/中国元	19.46	19.71	-0.25	-1.27%
円/ホンコンドル	15.58	15.78	-0.20	-1.27%
円/米ドル	120.79	122.35	-1.56	-1.28%

※為替レートは三菱東京UFJ銀行の対顧客レート仲値等

※小数点第3位四捨五入

○「S&P パン アジア不動産関連株指数 除く日本、ANZ」: 「Standard & Poor's®」「S&P®」「スタンダード&プアーズ」は、スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスーズ エル エル シーの所有する登録商標であり、三菱UFJ国際投信株式会社に対して利用許諾が与えられています。スタンダード&プアーズは、本商品を支持、推奨、販売、販売促進するものではなく、また本商品への投資適合性についていかなる表明・保証・条件付け等するものではありません。

■当資料の「ご留意事項等」の内容を必ずご覧ください。

## ご留意事項等

### 【ご購入に際しての留意事項】

#### ◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

#### ◎投資信託に係る費用について

(ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。)

##### ■購入時(ファンドによっては換金時)に直接ご負担いただく費用

・購入時(換金時)手数料 … **上限 3.24%(税込)**

※一部のファンドについては、購入時(換金時)手数料額(上限 37,800円(税込))を定めているものがあります。

##### ■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用

・信託財産留保額 … ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

##### ■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

・運用管理費用(信託報酬) … **上限 年3.348%(税込)**

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

##### ■その他の費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等でご確認ください。

※その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

お客さまにご負担いただく費用の合計額もしくはその上限額またはこれらの計算方法は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱UFJ国際投信が運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をご覧ください。

### 【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

■投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

■投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。

■当資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

■当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

設定・運用 … 三菱UFJ国際投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

■当資料の「ご留意事項等」の内容を必ずご覧ください。